

芸術学部 デザイン工芸学科 視覚造形分野 受託研究

研究期間/令和4年4月1日~7月29日

広島型地域運営組織

「ひろしまLMO(エルモ)」のロゴマーク作成 (広島市)

テーマは“もやい”広島市長の想いを
講話で学び「ひろしまLMO」の理念を可視化する

【目的】

広島市では将来にわたり、地域コミュニティの活動が持続可能なものになるよう、令和4年2月に策定した「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づき、市民主体のまちづくりを推進する広島型地域運営組織「ひろしまLMO」の構築に取り組んでいる。各地域で周知活動に活用してもらうために「ひろしまLMO」のロゴ・マークを作成する。



講堂小ホールにて松井市長の講話を聴講し「ひろしまLMO」の主旨を学んだ

令和5年5月10日(水)
松井広島市長講話の告知ポスター

ロゴマークのデザインは、授業の一環として取り組んだ。教員の指導のもと、錯誤を繰り返して、1人20案を考えた。



令和5年5月12日(金)、実際にロゴマークを使うことになる「ひろしまLMO 毘沙門台学区社会福祉協議会」の役員の方々への取材。

【研究・制作留意点】

制作にあたり視覚造形分野2年生(4名)の実習として取り組んだ。松井市長の講話のあと個別に取材、さらにすでに「ひろしまLMO」認定学区の毘沙門学区の方々にお話を聞き様々な案を出し合い、大量のアイデアの中から各自の案を市役所市長公室でプレゼンテーションを行った。



令和5年6月8日(木) 広島市役所 市長公室でのプレゼンテーション。

納島 正弘(教授)/指導・統括ディレクション、中村 圭(准教授)/指導
池田優菜、中島咲弥、平田真弓、山本千夏(視覚造形2年生)/デザイン制作